

# 今後の感染拡大に備えた対策強化のポイント

(病床の確保、臨時の医療施設の整備)

(今夏)

(今後)

デルタ株への置き換わりなどによる  
今夏のピーク時

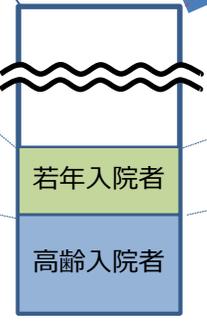
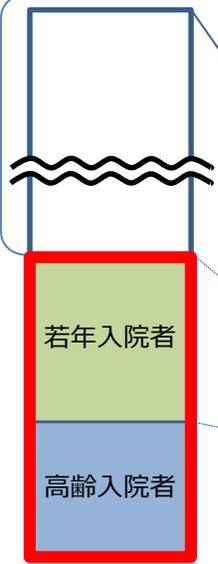
最悪の事態を想定した  
次の感染拡大への備え

自宅・宿泊療養者  
要入院者  
接種率

**【ワクチン接種の効果】**  
若年層のワクチン接種率が  
70%に進むことで、  
**感染者は約5割減\***  
\*ワクチン接種以外の条件は今夏と同一

今夏の**2倍程度**  
の感染力を想定

若年層の接種率の増加  
により、高齢感染者の  
割合が増加



若年者 70%  
高齢者 90%

**入院患者の受入の2割増強**

**【さらなる感染拡大時】** (感染力が例えば3倍となった場合)  
**いざという時の強い行動制限**  
+  
**一般医療の制限の下、緊急的な病床等を確保するための具体的措置**  
・国立病院機構・JCHO等の緊急病床確保  
・臨時医療施設等の確保・拡大

**【自宅療養者等の健康観察・治療】**  
○地域の医療機関を活用し、陽性判明当日・翌日から速やかに健康観察・治療を実施

**【治療薬の確保】**  
○中和抗体薬の投与  
○経口薬の実用化を年内に目指す

**【病床の確保、臨時の医療施設等の整備】**  
**入院患者の受入の2割増強を要請**  
○病床の確実な稼働 (8割以上の利用率)  
○公的病院の専用病床化・現行法下での権限の発動 ※国立病院機構・JCHOなど  
○臨時医療施設・入院待機施設の確保  
○医療人材の確保等  
○ITを活用した稼働状況の徹底的な見える化

国の主導において行うもの  
国・都道府県の連携の下行つもの